

英単語の意味が一瞬でわかる！

柏原 達朗 草野 武磨 桑平 拓磨 佐藤 靖浩 橋本憲人

要旨

英単語の意味を覚えることは高校生にとって必須の項目である。しかし、人間は忘れる生き物であるうえ、やみくもに覚えようとしても定着させることは難しい。そこで、英単語の意味を一瞬で判断する方法を研究した。今回我々が用いたのは、接頭語、接尾語、語根を基に知らない英単語の意味を推測する方法である。被験者が知らない英単語の意味を推測するテストを接頭語、接尾語、語根といった基礎情報を被験者が持っている場合と、持っていない場合に分けて実施し、点数の差を比較することでこれらの基礎情報が英単語の意味の推測において非常に有効な要素だという結果を得た。

キーワード：英単語，意味，推測

1 序論

高校生はいつも勉強している。その中でも英語を苦手としている生徒は比較的多いはずである。受験英語の学習にはリスニング能力や構文や文法の知識、表現力も勿論必要である。さらに、例えば長い長文を読んでいて自分が初めて目にする単語に出会ったときにその意味を的確に判断できるか否かはその問題の点数に大きく関わってくる。だが、なんの予備知識もなしに新しい単語の意味を推測することなど不可能に近い。そこで我々が着目したのが接頭語、接尾語、語根の「三種の神器」である。これらの基礎情報を持っていると英単語の意味の推測はより易くなるはずだ。

2 質問紙調査

(i) 一回目

I	dispose	
① 配列する ② 構成する ③ 晒す ④ 課す		
II	excess	
① 超過 ② 過程 ③ 成功 ④ 接近		

(ii) 二回目

I	dispose	dis「否定、非～、不～、分離」 語根「置く」 pose
① 配列する ② 構成する ③ 晒す ④ 課す		
II	excess	ex「外へ、外に」 語根「行程」 cess
① 過 ② 過程 ③ 成功 ④ 接近		

上記のように一回目のテストについては単語のみ、二回目のテストについては接頭辞・語根の意味を加えたものを1～R組の生徒225名に対し実施した。

なお、4組については我々の説明不足により調査方法に不備があったため、今回の調査では除外

2組7班
させていただいた。

3 仮説の設定と検証

(1) 仮説の設定

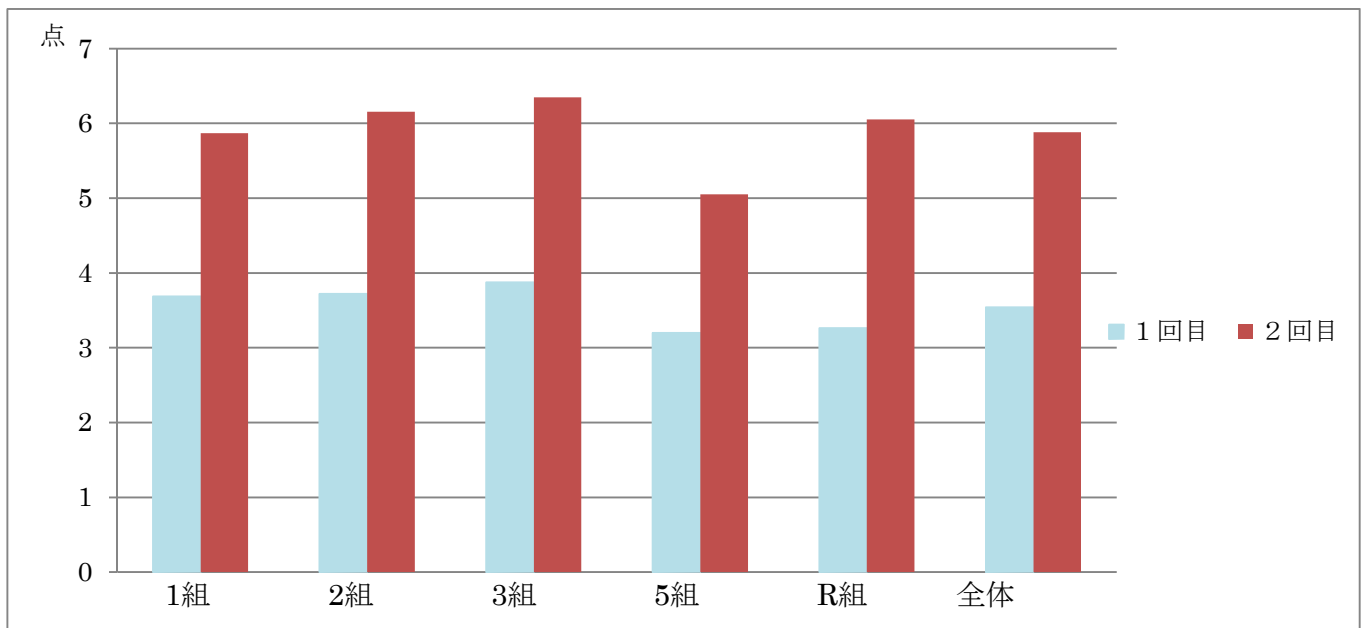
【仮説】 接頭辞・接尾辞の意味が分かれば、英単語の意味をより正確にとらえることができるだろう。

(2) 検証方法

一回目の調査で得た結果と二回目の調査で得た結果をそれぞれクラスごとに平均し、一回目と二回目の差を考えてこれらの情報が重要であることを示す。

(3) 結果

一回目の調査と二回目の調査の結果をそれぞれクラスごとに平均すると下のグラフのようになった。



クラスごとの平均点

4 結論

仮説どおり、一回目の点数よりも二回目の点数のほうが明らかに良いという結果を得た。このことから、接頭語、接尾語という情報は、知らない英単語の意味の推測に役立つということが考えられる。

英単語の意味を推測する、ひいては覚える時には、効率向上のために接頭語、接尾語、語根を意識することを提案する。

*謝辞

本研究に当たっては、アドバイザーとして熱心にご指導いただいた岡山県立倉敷天城高等学校の坂本菜美 先生に感謝いたします。

【参考文献】

- ・ 吉浪和彦・北村博一・上野隆男・本郷泰弘：ブレイクスルー総合英語（改訂版）、美誠社（2007）
- ・ 竹林滋・小島義郎・東信行・赤須薫：ライトハウス英和辞典 第五版、研究社（2007）